

○ 同好会だより

★おせちの会

おせちの会は年1回の企画です。今回は当会でチラシを独自に作り、会報に入れていただき参加を呼びかけました。残念ながら新規の参加者はゼロでしたが、7家族でおせち交換を行いました。1家族で平均2種を作成し、品数は多く、今年も見事なおせちが出来上がりお正月の祝い膳となりました。私たちのおせちはテレビや新聞等の広告にあるような飾り重視ではありません。しっかり出汁の効いた煮物やベテランの作る黒豆・田作り、ほんわかとした甘みのきんとん、大人気の燻製などなど気持がゆったりする美味しいものばかりです。1家族あたりの費用は何故か毎年7000円前後で、今年は7600円でした。

みな様、来年はどうぞおせちの会のおせちで、楽しみませんか！（世話人・）



★映画を楽しむ会開催のお知らせ

第51回上映作品

「おくりびと」(130分、2008年公開)

当時、日本人の多くが持っていた「納棺師への評価」は、存在そのものを知らなかっただけでなく、作品中でも幼馴染に語らせている「もつとましな仕事につけ」妻からの「そんな汚らわしい仕事はやめて」に代表されるのかもしれない。それらを覆してくれたのが本作であったように思う。



本作は主人公を務めた本木雅弘が「納棺夫日記」を読んで感銘を受け、作者の青木新門宅を富山に訪れ、映画化の許可を受けてスタートした。しかし舞台が富山から山形に代わっていることなど脚本の段階で合意が得られず、原作「納棺夫日記」とは別物として製作された。

【上映会日程】2023.3.23(木)1:30pm~

【会場】日野春学舎「談話室」

【参加費】無料

問い合わせ先：

.....
.....

※一週間or抗原検査ルールを遵守下さい。

※当日朝の検温をお願いします。

★縄文住居をつくる会『梅之木だより3月号』

ご覧になった方もいらっしゃるかもしれません、1月6日 NHKBS『新日本風土記』の番組の中で私たちの梅之木遺跡での活動が週末縄文人として取り上げられました。ユネスコ世界遺産となった縄文遺跡などと肩を並べて番組が編集されていて誇らしく思うとともに、我々の活動も全国区で紹介されてこれからも活動にも力が入ります。昨年12月の忘年会までに何とか完成を！と意気込んでいましたが、残念ながら少しばかりの作業が残ってしまいました。その後、縄文人たちちは冬眠期間に入ってしまい中途半端になっていた作業も今月(3月)から再開です。梅之木遺跡公園内の縄文住居建設は5号棟で終了予定のため、最後となる5号棟完成時には盛大に？完成式を企画して皆でお祝いをしたいと思います。今後は建設済み縄文住居のメンテナンスや、子供の遊び場づくりなどを予定していますが、また新たな大人の遊びを創造していきたいと考えています。（・）



バケツリレーで最後の土被せ

○ 運営委員会だより

八ヶ岳ふるさと俱楽部の総会が、4月15日(土)に生涯学習センターこぶちさわ大ホール(小淵沢支所)にて開かれます。新型コロナ禍により2020年・2021年と2回中止になりましたが、2019年以来3年ぶりに開催した昨年に続き、2023年の今年も総会を開催するよう準備を進めています。

新型コロナに振り回された3年間でしたが、この1年は工夫しながら何とか行事も行い、活動を再開してきました。2023年はさらに、会員の皆さまが田舎暮らしを心から楽しめるよう、皆さまのご協力を仰ぎながら魅力ある八ヶ岳ふるさと俱楽部にしていきたいと思います。

〈編集後記〉

♪誤字、脱字のチェック、言葉の入れ替え等に専念！慣れない役割でしたが楽しみながらの1年間でした。原稿依頼を快く受けてくださった皆さん、ありがとうございました。「感謝デス！」(恭ちゃん)

♪自分にはいちばん苦手だと思っていたのに、思わず引きつかけになった会報担当。しかし皆さんの楽しい原稿と、編集仲間との作業の末に手にした会報の喜び！1年間とても素敵な時間をありがとうございました。「感謝！」(福ちゃん)

♪お二人を会報担当に巻き込んだ張本人は私です。とんだ災難(?)だったでしょうが、最後は3人一緒にゴールテープを切って万歳！会員の皆さまのご協力に最大の感謝を申し上げます。(ちゑ編集長)